

1510

| イメージ編集Ⅰ

| 3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

白尾隆太郎教授、石垣貴子講師、深澤涼子講師、山口弘毅講師

授業の概要と目標

「イメージ編集Ⅰ」では、編集を多義的に捉え、さまざまなメディアでの表現が、人間の共通感覚に根ざしたイメージの編集によって成り立っていることを理解する。

ここでは、自らの視点から捉えたテーマを、日常の身体を通じた、視る・聴く・味わう・触れるなどの体験に基づいて記録する。取材や情報の収集を含め、編集し、表現することのプロセス全体を実践することで、コミュニケーションとしての適切な方法を考える。

課題の概要

○通信授業課題

個人の明確な情報の発信を他者に行うコミュニケーションの手段として、「私の博物誌」「私の食文化誌」をA to Zという形式で考え、紙によるメディアを制作する。

A1サイズ1枚分の紙を、折る・切る・束ねる・連ねる、その他自由な形態を考え、自らの視点で編集し、テーマを受け手にわかりやすく伝え、面白いコミュニケーションツールを考える。

○面接授業課題

通信課題で得られた理解を応用した編集デザインの実習及び広告デザインの実習。

*課題については、学習指導書『イメージ編集Ⅰ・Ⅱ 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

日常の中にある物事を改めて自らの視点で眺め、問題や関心を深めていくことから、体験的に集められてくる情報や物事の成り立ちのプロセスを探っていくことでさまざまな発見をする。それらを独自の方法で編集することで、より良好なコミュニケーションの手段を考える。編集デザインの計画を9月上旬までに送り、チェックを受けた後、本制作をする。

[面接授業]

編集デザインを中心とした授業（3日間）+広告デザインを主とした授業（3日間）。

成績評価の方法

[通信授業] 提出作品、制作プロセスの総合評価とする。

[面接授業] 制作プロセス、全体講評と作品の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース3年次編入学生を除く）。

[備考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース3年次必修科目。

コミュニケーションデザインコース3年次編入学生は「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得しているか、同時に履修することが望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：若林直樹・白尾隆太郎編『イメージ編集』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

学習指導書：『イメージ編集Ⅰ・Ⅱ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

参考文献：石毛直道監修、熊倉功夫編『講座 食の文化2 日本の食事文化』（味の素食の文化センター 1999年）

芳賀登・石川寛子監修『全集 日本の食文化 第12巻 郷土と行事の食』（雄山閣出版 1999年）

石川英輔『大江戸えねるぎー事情』（講談社 1993年）

工藤強勝監修 日経デザイン編『編集デザインの教科書』（日経BP社 1999年）